

毎学期の始めに学務情報システムから「履修登録」をクリックすると、アンケートのような画面が開きます。これは「学生プロフィール」と呼ばれるYNU学生ポートフォリオの入力画面です。

今年から、入力項目に**心理アセスメントBEVI**（所要時間は30分程度）が加わります。それに伴い、学生プロフィールの入力には全体で2時間近く必要と思いますので、授業開始第1週目の余裕がある時期に入力し、この春学期をじっくり振り返りましょう。入力期間は10/1～18です。

学生の皆さんの負担を増やしてしまい心苦しい限りです。でも、BEVIはきっと役に立ちますので、ぜひチャレンジしてください。



高大接続・全学教育推進センター 市村光之

■ 秋学期の入力項目

1. 緊急連絡先

大学からの緊急連絡等の際に利用する情報です。引越し等、変更がありましたら更新してください。

2. 学修・生活行動チェックシート

このチェックシートは例年、皆さんの学修・生活行動等を自己チェックするためのものです。今回は、**New Normal**と呼ばれる今後の大学教育のあり方を学生の皆さんと共に考える設問に一部変更しました。負担を軽減するため、設問数は昨年より半減しました。

3. 就業力自己チェックシート

あなたの就業力（社会に出てから必要になる共通スキル）を自己チェックできるシートです。回答結果はYNU学生ポートフォリオ内でグラフ表示され、過去の回答結果も参照できます。

4. BEVI

今回から**新たに導入された心理アセスメント**です。詳細は右記を参照してください。受験所要時間は20～30分です。測定結果（個人レポート）は、受験終了直後から、Web上で閲覧できます。

5. 振り返りシート

学業、学業以外の学生生活、自分自身、将来の4項目で、新学期を迎えるにあたってあなた自身の考えを整理するためのシートです。2～4を踏まえて学期ごとに学修成果や学生生活を振り返り、新学期の履修計画に反映してください。

■ BEVIとは

BEVI : Beliefs, Events, and Values Inventory は、米国の心理学者グループにより開発されたグローバル・コンピテンシーなどを測るアセスメントです。近年、海外で活躍できる人材が求められていますが、多様な文化的背景を持つ人々との協働に必要なのは言語力だけではありません。むしろ、主体的に異文化に適應する資質、意識や価値観など、日ごろ認識しにくい要素が重要です。このことは、本ニュースレター 8号「グローバル人材要件の核心は英語力ではない」で解説したとおりです。

そうした自分では意識しにくい面を自覚するためのツールがBEVIです。ここ数年で、日本でも注目され始め、日本語版を開発した広島大学をはじめ、東京大、大阪大、筑波大、一橋大、国際教養大、上智大などで導入されています。本学でも、この秋から導入し、年1回学生の皆さんに受験していただくことになりました。



学生プロフィールでは、春学期は学士力自己チェック、秋学期は就業力自己チェックの複眼で、あなた自身の学修成果を可視化できるようにしています。そこにBEVIが加わります。冰山モデルをご存知ですか。海面上に見えている部分は冰山の一部に過ぎません。海面下には、さらに大きな何かが隠れています。学士力と就業力は自分で自覚

しやすい、いわば海面上の氷山の一角です。BEVIはあなたのものの考えかた、価値観、信念など水面下に横たわる、見えない部分の自覚を促すためのものです。学生プロフィールの企画者として筆者は、学士力と就業力にBEVIが加わり、学生の皆さんに提供する学修成果の可視化ツールの完成形になると考えています。

■ BEVI受検結果の読みかた

BEVIを受検した直後から、BEVIサイト上で受検結果（個人レポート）を閲覧できます。翻訳調の文章で読みにくい面がありますがご容赦ください。BEVIの設問や個人レポートは英語で作られ、各言語に翻訳しています。できる限り世界共通に同じ表現の設問で受検していただき、結果も同じ表現で伝えたいという意図で、意訳は最小限にとどめ原文に忠実な翻訳になっています。

BEVIは7つの尺度であなたの資質、意識や価値観などを測定しています。個人レポートも、その7つの尺度ごとに結果を説明しています。その概要を下表に示します。①②はあなたの深い胸の内にあるもの、③～⑤が社会生活上の基本的傾向、⑥⑦がグローバル・コンピテンシーに相当します。

■ 気づきを言語化しよう

BEVIの個人レポートでは、各尺度の測定スコアは提供されません。これは、スコアの高低にのみに目を奪われて一喜一憂して終わることなく、自分自身の現在のありようを受け止めることが何より大切、という意図からです（実は、次年度からスコアも提供する予定なのですが）。

BEVIの受検後、学生プロフィールに戻り「振り返りシート」を記入しますね。ぜひ、個人レポートから得た気づきを言語化してください。今回は「就業力自己チェック」もしますので、その結果も参照しつつ、今後の学生生活に活かしていただきたいです。

■ ポートフォリオの活用法を確認しよう

「振り返りシート」を記入する際は、ポートフォリオの活用のしかたも参照してください。

- ① 授業支援システムのHome画面にある「講義一覧」から、「高大接続・全学教育推進センター 学生IR部門」を開く
- ② 「YNU学生ポートフォリオの活用法」をクリック

BEVIの尺度	各尺度の内容
① 形成的変数	<ul style="list-style-type: none"> • あなた自身のアイデンティティ、自己受容性、自尊感情、自己肯定感、開放性、客観的思考、公正な判断など • あなたの思考や行動の源にあるものを表す
② 中核的な欲求	
③ 不均衡の許容	<ul style="list-style-type: none"> • 他者や社会への開放性、レジリエンス、分析力、自己効力感など • ある出来事に対処する態度の傾向を「確信型」「懐疑型」の2タイプで表す
④ 行動の動機	<ul style="list-style-type: none"> • 批判的・論理思考、課題発見・解決能力、分析力、複眼的視野など • ものごとを捉える上での思考の傾向を表す
⑤ 自分自身や自分の考え、感情、欲求	<ul style="list-style-type: none"> • 主体性、自己統制力・自律心、好奇心、探求力、創造力、柔軟性など • 自分の感情や欲求を表出する際の傾向を表す
⑥ 他者の思いや感情	<ul style="list-style-type: none"> • 異文化理解、多様性への寛容、柔軟性、倫理観など • 宗教、ジェンダー、政治また人種の問題に関する傾向を表す
⑦ より広い世界を知る	<ul style="list-style-type: none"> • 異文化理解・感受性・適応力、チャレンジ精神、チームワーク、コミュニケーション能力、開放性、責任感など • 環境や自然界に対する姿勢、世界に関与する傾向を表す